

Canon

imageRUNNER C3020F

はじめに お読みください



ここにしまってください。



本機の設定をしよう



日常的にお使いになるときに

付録

設定のしかたと使いかた

ご使用前に必ず「安全にお使いいただくために」をお読みください。➡ 26ページ

お読みになった後は

本書は将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

※本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

Mac OSをお使いのお客様へ

Mac OS 用ドライバーの対応状況はキャノンホームページでご確認ください。

商品別 OS 対応状況は <http://canon.jp/support> を、最新ドライバーのダウンロードについては <http://canon.jp/download> をそれぞれご覧ください。



本機の全機能は、ユーザーズガイドで説明しています。

canon.com/oip-manual

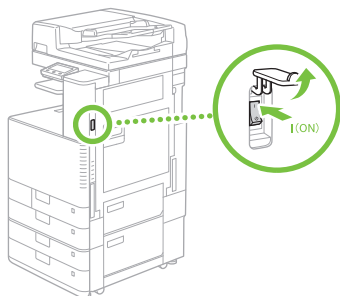
でご覧いただくことができます。



設定する

本体の初期設定をする

1



2 画面の指示に従って以下を設定する

- ・ 現在日時の設定
- ・ リモートUI アクセス暗証番号の設定
- ・ 色補正の設定

! 第三者からの不正アクセスを防止するために、リモートUIアクセス暗証番号の設定を推奨します。

パソコンとの接続方法を設定する

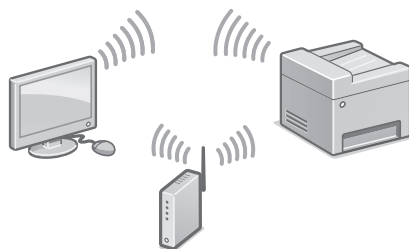
! 設定前の注意

- ・ セキュリティーで保護されていないネットワーク環境に接続すると、お客様の個人情報などが第三者に漏えいする危険があります。十分にご注意ください。
- ・ ルーターは付属していませんので、別途ご用意ください。
- ・ 本機を有線LANと無線LANの両方に接続することはできません。

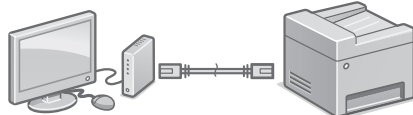
■ 接続方法を選ぶ

通信環境やお使いの機器に合わせて接続方法を選択し、各ページに移動して設定を行ってください。

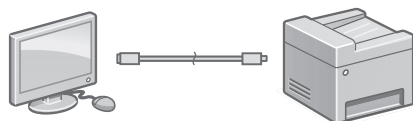
無線LANで接続するときは ➡ P.3



有線LANで接続するときは ➡ P.4



USBで接続するときは ➡ P.5



💡 無線LANルーターのない環境でも「アクセスポイントモード」を使うと、お手元のモバイル機器から無線で本機に直接接続できます（ダイレクト接続）。

➡ ユーザーズガイド

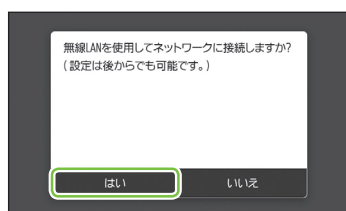
179C-069

🔍 検索

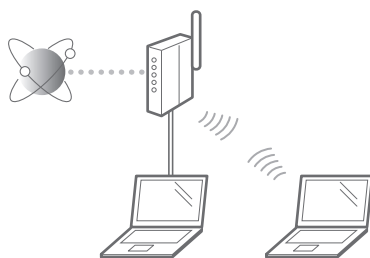
📖 検索番号の使いかた ➡ 裏表紙

■ 無線LANで接続する

1



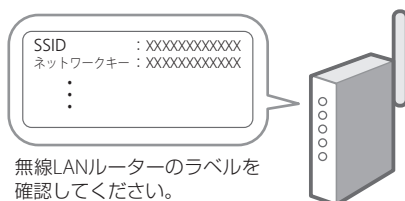
2 パソコンと無線 LAN ルーターが正しく接続されていることを確認する



・詳しくは各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。メーカーにお問い合わせください。

3 パソコン側のネットワーク設定が完了していることを確認する

4 SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名) とネットワークキー (暗号化キー) を確認する



無線LANルーターに以下のマークがあるときは、ボタンを押すだけで簡単に設定することができます。

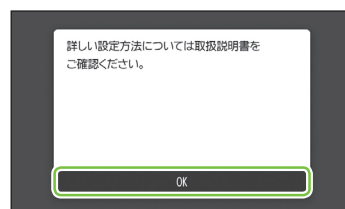


WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する ➡ ユーザーズガイド

179C-00A 🔍 検索

📖 検索番号の使いかた ➡ 裏表紙

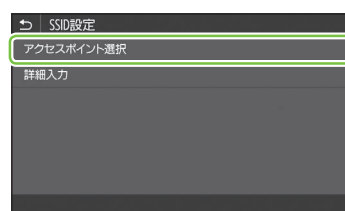
5



6

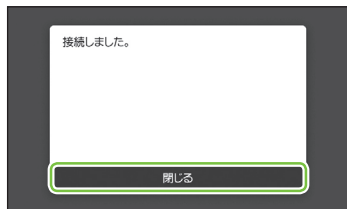
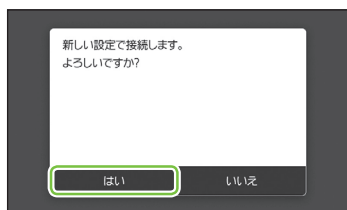
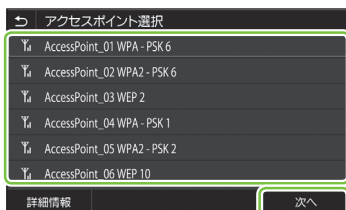


7



設定する

8 画面に従って、手順4で確認したSSIDとネットワークキーを設定する



- ・数分後に自動的にIPアドレスが設定されます。
- ・パソコン側に固定IPアドレスを設定している場合は、本機のIPアドレスを手動で設定してください。

➡ ユーザーズガイド

179C-00J

🔍 検索

9 ソフトウェアをインストールする

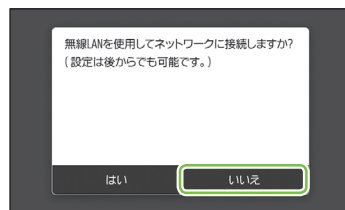
➡ P.6 「ソフトウェアをインストールする」

これで初期設定は終了です。
続いてファクスの設定を行います
➡ P.7

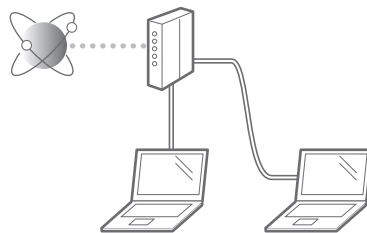
■ 有線LANで接続する

❗ 有線LANケーブルは付属していないので、別途ご用意ください。

1



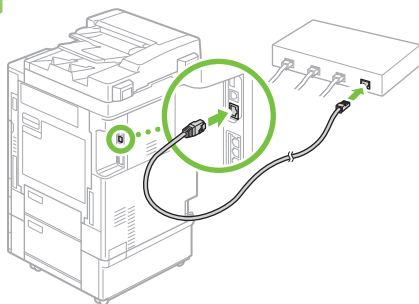
2 パソコンとルーターが正しく接続されていることを確認する



・詳しくは各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

3 パソコン側のネットワーク設定が完了していることを確認する

4 LAN ケーブルを接続する



- ・接続したらそのまま数分間待ちます（自動的に IP アドレスが設定されます）。
- ・パソコン側に固定 IP アドレスを設定している場合は、本機の IP アドレスを手動で設定してください。

➡ ユーザーズガイド

179C-00J

🔍 検索

5 ソフトウェアをインストールする

➡ P.6 「ソフトウェアをインストールする」

これで初期設定は終了です。
続いてファクスの設定を行います
➡ P.7

■ USBで接続する

- ❗ ・ USBケーブルは付属していませんので、別途ご用意ください。
- ・ USBケーブルは、右のマークがあるケーブルをご使用ください。
- ・ USBケーブルは、インストール画面で指示があるまで接続しないでください。万一接続してしまったら、パソコンからUSBケーブルを抜き、ダイアログボックスを閉じて、「■ソフトウェアをインストールする」の手順1からやり直してください。



1 「無線 LAN を使用してネットワークに接続しますか？」の画面で「いいえ」を選ぶ

2 ソフトウェアをインストールする

➡ P.6 「ソフトウェアをインストールする」

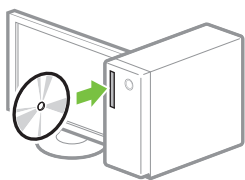
これで初期設定は終了です。
続いてファクスの設定を行います
➡ P.7

設定する

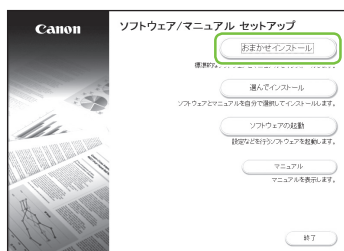
■ ソフトウェアをインストールする

ドライバーやソフトウェアをインストールします。
インストールの詳細は、ドライバーのマニュアル
を参照してください。

1



2



画面が正しく表示されないときは

CD/DVDを入れ直すか、Windowsで「D:\MIInst.exe」を検索してください(CD-ROM/DVD-ROMドライブ名は「D:」として説明)。

Mac OSをお使いのお客様へ

- ・ Mac OSでのインストールについては、ドライバーのマニュアルを参照してください。
- ・ Mac OS用のドライバーは、ご購入の時期によっては付属されていない場合があります。最新ドライバーがキヤノンホームページに順次掲載されますので、ダウンロードしてお使いください。

ファクスの設定をする

❗ ファクス設定の前に

- ・ 接続できる電話回線は、一般加入電話回線（PSTN）です。これ以外の専用電話線を接続した場合は、本機の通信機能が使用できなくなる可能性があります。
- ・ 本機はNTTのアナログ回線規格に準拠しており、光回線やADSLを利用した場合、正しく接続できないことがあります。

電話回線に接続する

➡ ユーザーズガイド

179C-01H

🔍 検索

📖 検索番号の使いかた ➡ 裏表紙

■ 受信モードを選ぶ

ファクスの設定では、用途に合わせて受信モードを選択します。以下の4つから選んで、設定の前に受信モードを決めておきましょう。

ファクスしか使わない

➡ 自動受信



※工場出荷時は、自動受信に設定されています。

留守番電話を使う／ファクスは自動で受信する

➡ 留守 TEL 接続



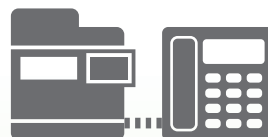
電話も使う／ファクスは毎回手動で受信する

➡ 手動受信



電話も使う／ファクスは自動で受信する

➡ FAX/TEL切替

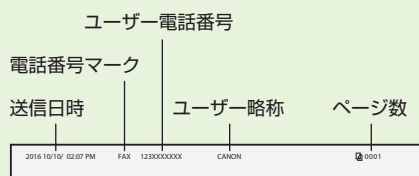


設定する

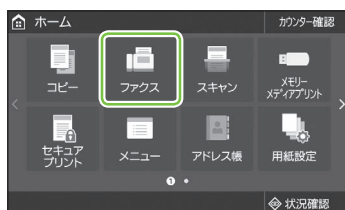
■ 設定をする

ユーザー電話番号とユーザー略称について

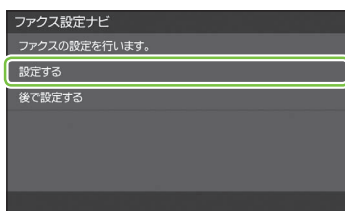
「ユーザー電話番号」と「ユーザー略称」は、発信元情報として相手の出力紙の上部にプリントされます。



1



2



・後からファクスの設定をすることもできます。

ファクスの設定をする

➡ ユーザーズガイド

179C-01A

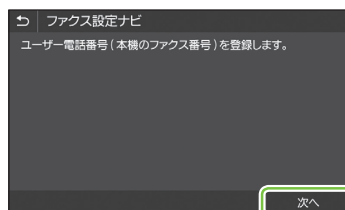
🔍 検索



検索番号の使いかた

➡ 裏表紙

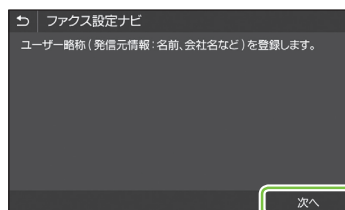
3



4



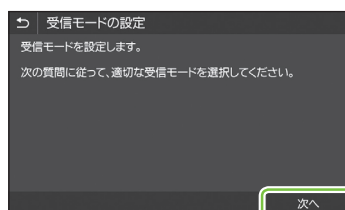
5



6



7



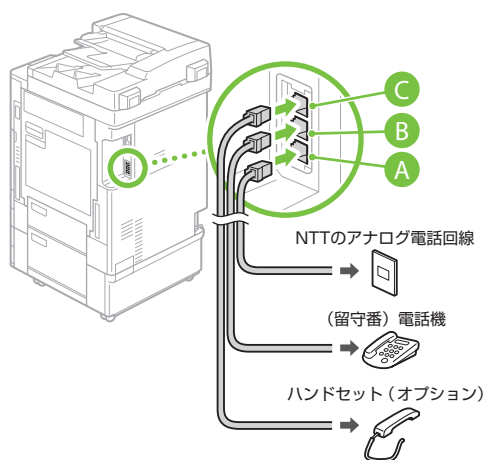
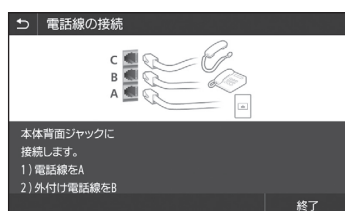
8 ➡ P.7 「受信モードを選ぶ」で選んだ受信モードを設定する

画面表示	 自動受信	 留守TEL接続	 手動受信	 FAX/TEL切替
	いいえ	はい	はい	はい
		はい	いいえ	いいえ
			いいえ	はい
	受信モード: 自動受信	受信モード: 留守TEL接続	受信モード: 手動受信	受信モード: FAX/TEL切替
モードを確認し [確定] を選ぶ				

設定する

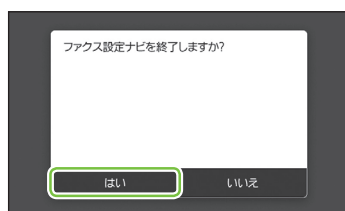
9 電話回線に接続する

！ 接続が終わるまで「終了」は選ばないでください。



10 「終了」を選ぶ

11



これでファクス設定は終了です。

お使いになる前に

原稿は正しく置きましょう

原稿台ガラスに置く



こんな原稿におすすめ



本、雑誌



新聞の切り抜き



名刺

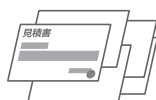
フィーダーに置く



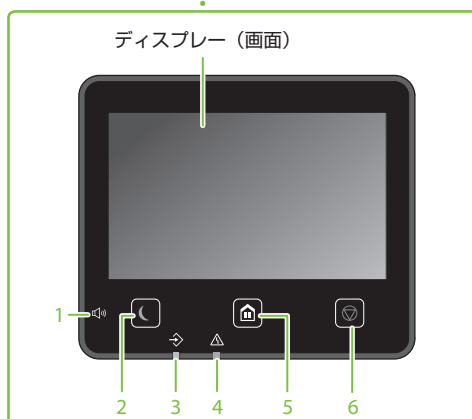
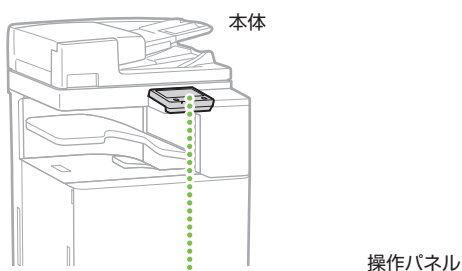
こんな原稿におすすめ



ページ数の多い資料や見積書など



操作パネルから操作開始



1. 音量キー

音量を調整するときに押します。

2. スリープキー

スリープモード（節電状態）を起動／解除するときに押します。

- ・スリープモード中：点灯
- ・スリープモード解除中：消灯

3. データランプ

- ・通信中などの動作中：点滅
- ・処理待ちの文書がある：点灯

4. エラーランプ

- ・紙づまりなどのエラー：点滅
- ・担当サービスに連絡する必要のあるエラー：点灯

5. ホームキー

コピーなど各機能の入り口となるホーム画面を表示するときに押します

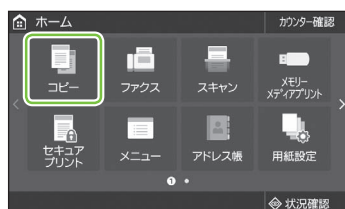
6. ストップキー

動作を止めるときに押します。

コピーする

1 原稿をセットする
➡ P.11 「原稿は正しく置きましょう」

2  を押し、[コピー] を選ぶ



3 コピー部数を入力する

4 必要に応じて**コピー設定**をする



5 [スタート] を選ぶ



■ ページ集約

複数の原稿を縮小して1枚の用紙にコピー。
用紙を節約できます。



■ 両面・片面

2枚の原稿を両面コピーしたり、両面原稿を2
枚に片面コピーしたりできます。

■ 拡大・縮小

「A5→A4」など定型サイズ変倍や、1%刻みの
拡大／縮小ができます。

さらに詳しく知りたいときは

コピーする ➡ ユーザーズガイド

179C-03L

🔍 検索



検索番号の使いかた ➡ 裏表紙

身分証明をコピーするとき便利！

■ IDカードコピー

運転免許証や健康保険証など、IDカードの表
裏を1枚の用紙に等倍コピーできます。



➡ ユーザーズガイド

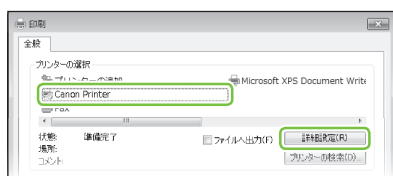
179C-046

🔍 検索

プリントする

1 印刷したい文書を開き、アプリケーションの印刷機能を選ぶ

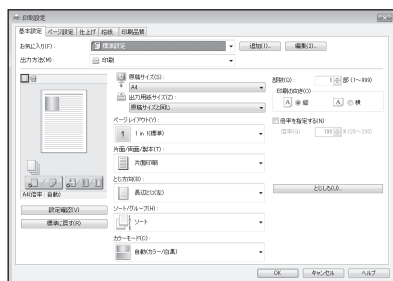
2 本機のプリンタードライバーを選び、[詳細設定] または [プロパティ] を選ぶ



3 用紙サイズを設定する

4 給紙部と用紙種類を設定する

5 必要に応じて**プリント設定**をする



6 [OK] を選ぶ

7 [印刷] または [OK] を選ぶ

■ 両面

用紙の両面に印刷。とじしろも設定できるので、ホチキス留めするときにも便利です。



■ 集約


複数のページを縮小して、1枚の用紙に印刷。サムネイルで閲覧したり、用紙を節約したりするときに便利です。



■ 製本印刷


用紙の両面に2ページずつ原稿を印刷します。用紙の中央で折ると本のような体裁に！

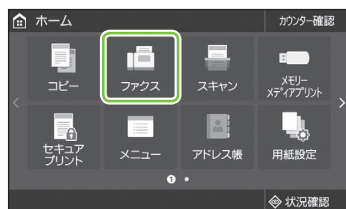


 各機能の詳細およびその他の機能については、ドライバーのヘルプをご覧ください。

ファクスする

1 原稿をセットする
➡ P.11 「原稿は正しく置きましょう」

2  を押し、[ファクス] を選ぶ



3 宛先を入力する

❗ よく使う宛先はアドレス帳に登録しておくと便利です。

➡ P.16 「宛先を登録する(アドレス帳)」



4 必要に応じてファクス設定をする

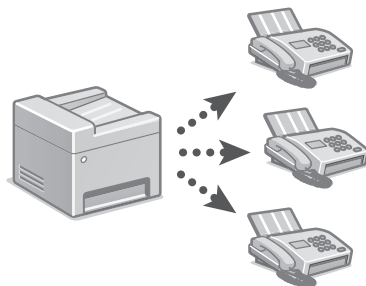


5 [スタート] を選ぶ

用途に応じてファクス機能を使い分け！

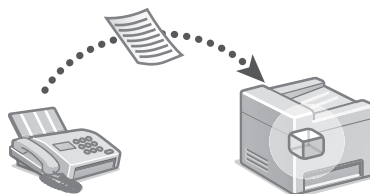
■ 同報送信

1回の操作で最大310件の宛先にファクスを送信できます。



■ メモリー受信

受信したファクス文書をいったんメモリーに保存して、好きなときに印刷できます。



■ PCファクス

パソコンで作成した文書を、印刷するのと同じ要領でファクスすることができます。

さらに詳しく知りたいときは

ファクスする ➡ ユーザーズガイド

179C-047


🔍 検索

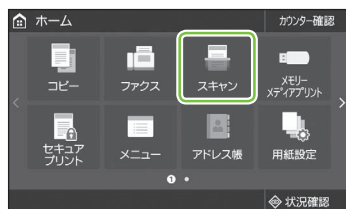


検索番号の使いかた ➡ 裏表紙

スキャンする

1 原稿をセットする
➡ P.11 「原稿は正しく置きましょう」

2  を押し、[スキャン] を選ぶ



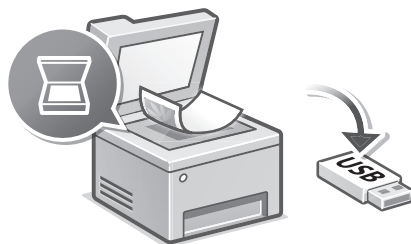
3 スキャンの種類を選び、情報を入力する



4 [スタート] (または [白黒スタート] [カラースタート] のどちらか) を選ぶ

■ USBメモリーに保存

本体に差したUSBメモリーに直接保存！データの持ち運びが簡単です。



■ Eメール送信

本機から直接Eメールで送信します。パソコンを通さずスピーディー！

■ ファイルサーバーへ送信

スキャンデータをパソコンの共有フォルダーやFTPサーバーに保存します。紙の資料をデータ化共有するときに便利です。

さらに詳しく知りたいときは

スキャンの基本操作
➡ ユーザーズガイド

179C-05E

🔍 検索



検索番号の使いかた ➡ 裏表紙

パソコンからスキャンするときは？

■ MF Scan Utility

スキャンデータを指定したアプリケーションに転送したり、Eメールソフトのメッセージに添付したりできます。画像処理アプリケーションからスキャンすることもできます。



➡ ユーザーズガイド

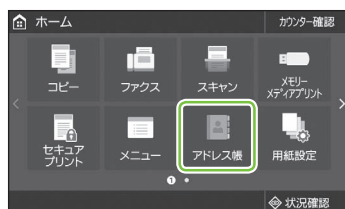
179C-063

🔍 検索

宛先を登録する（アドレス帳）

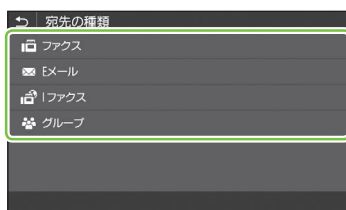
よく使う宛先は、あらかじめアドレス帳に登録しておくと簡単に呼び出せます（300件まで登録可能）。

1  を押し、[アドレス帳] を選ぶ



2 [新規登録] を選ぶ

3 宛先の種類を選び、情報を入力する



4 [確定] を選ぶ



■ ファクス



■ グループ



■ Eメール



■ Iファクス



さらに詳しく知りたいときは

宛先を登録する ➡ ユーザーズガイド

179C-03F

🔍 検索



検索番号の使いかた ➡ 裏表紙

ファイルサーバーを宛先にするときは？

■ リモートUIから登録

共有フォルダーやFTPサーバーを宛先としてアドレス帳に登録するときは、リモートUIから設定します。



リモートUIから宛先を登録する

➡ ユーザーズガイド

179C-083

🔍 検索

用紙をセットする

定形サイズ以外の用紙をセットするときは

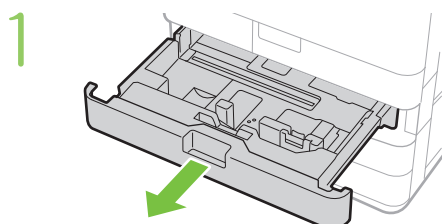
給紙カセットにセットする ➡ ユーザーズガイド

179C-0EL

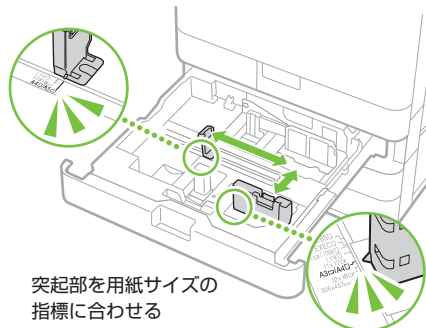
検索

給紙カセットにセットする

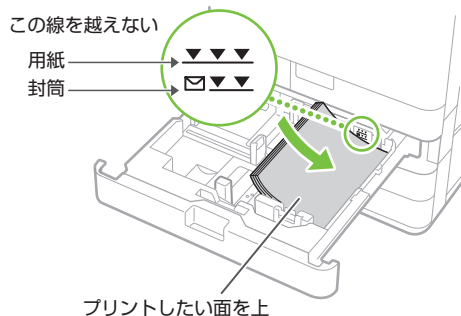
共通の操作は、給紙カセット2 を例にして説明します。



2 水色のつまみをスライドさせて、用紙ガイドを調整する



3 用紙をよくさばいてからセットする



4 カセットを本体に戻す

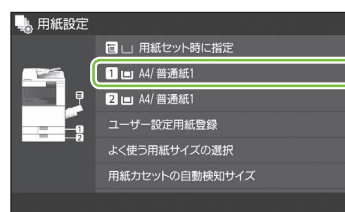
- ❗ カセットと本体のすき間に指をはさまないように注意してください。
- 💡 用紙のサイズを変更したときは、必要に応じて用紙サイズラベルを貼りかえてください。

用紙の種類を変えた場合は、必ず用紙設定を行ってください。

■ 用紙の設定をする

1 を押し、[用紙設定] を選ぶ

2 画面表示に従って、用紙のサイズと種類を設定する

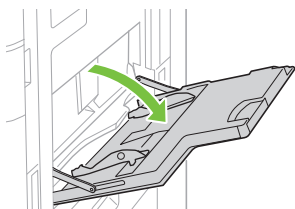


用紙をセットする

手差しトレイにセットする

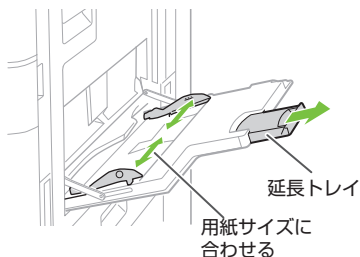
❗ コート紙など、紙送りがうまくできない用紙の場合は、1枚ずつセットしてください。

1



2

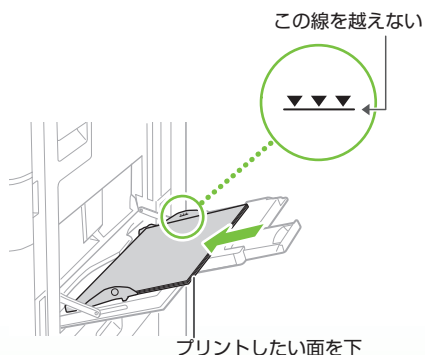
用紙ガイドを調整する



💡 大きなサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを引き出してください。

3

よくさばき、平らな場所で用紙の端をそろえてから、セットする



4

用紙のサイズと種類を確認し、[確定] を選ぶ

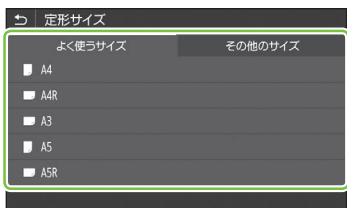


■ サイズや種類がセットした用紙と異なる場合は

手順4の画面で、手動で設定を変更します。

1

用紙のサイズを設定する



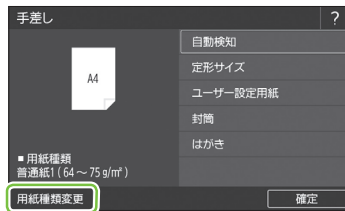
定形サイズ以外の用紙をセットするときは

手差しトレイにセットする ➡ ユーザーズガイド

179C-0EL

検索

2 用紙の種類を設定する



手差しトレイにセットする

用紙をセットする

封筒・はがきをセットする

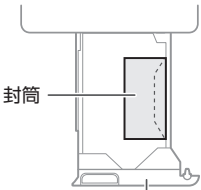
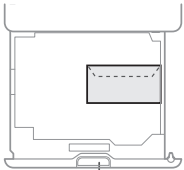
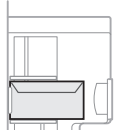
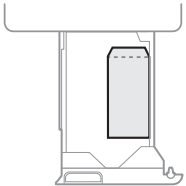
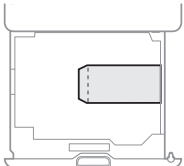
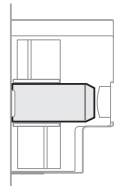
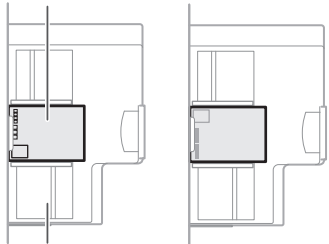
下の表を参考に、正しい向きにセットしてください。

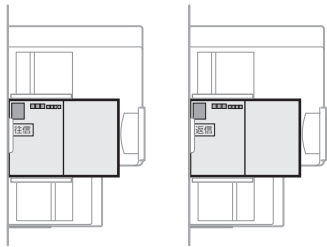
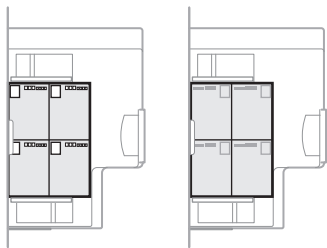
基本的な用紙のセット方法は、以下をご覧ください。

給紙カセットの場合 ➡ P.17

手差しトレイの場合 ➡ P.18

- ・ 封の部分にのりが付いた封筒を使用すると、定着器の熱や圧力により、のりが溶けることがあります。
- ・ 封筒のウラ面（貼り合わせがある面）にはプリントしないでください。
- ・ 給紙カセットの場合は封筒のおモテ面を上にして、手差しトレイの場合は封筒のおモテ面を下にしてセットします。

	給紙カセット1	給紙カセット2	手差しトレイ
洋形長3号	 <p>封筒</p> <p>給紙カセット1</p>	 <p>給紙カセット2</p>	 <p>手差しトレイ</p>
長形3号／角形2号*	 <p>*角形2号は給紙カセット1にはセットできません。</p>		
はがき	—	—	<div>通信面</div> <div>宛名面</div> <div>はがき</div>  <p>手差しトレイ</p>

	給紙カセット1	給紙カセット2	手差しトレイ
往復はがき	—	—	<div>通信面</div> <div>宛名面</div> 
4面はがき	—	—	<div>通信面</div> <div>宛名面</div> 

封筒・はがきをセットする

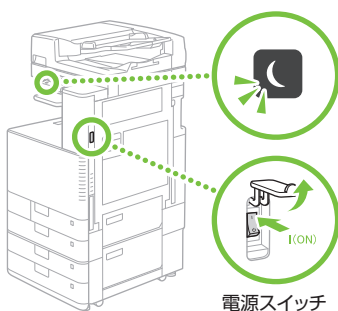
こんなときは…

故障かな?と思ったときは

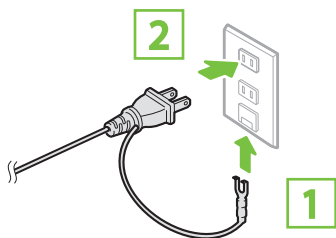
以下を確認してください。

- 電源は入っていますか?
- スリープモードになっていませんか?

ディスプレイとが消灯していたら、電源スイッチを押す。



- 電源コードは接続されていますか?



解決しないときは、以下を参考にしてください。

- ・ユーザーズガイド
- ・Q&A検索
(<http://cweb.canon.jp/e-support/index.html>)

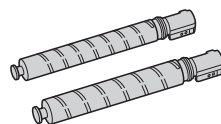
用紙がつまったときは

画面の指示に従って、用紙を取り除いてください。



消耗品を交換するときは

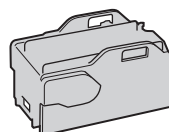
■ トナー容器



キヤノン純正トナー容器です。

- ・Canon NPG-67 Toner Black
(キヤノン NPG-67 トナー ブラック)
- ・Canon NPG-67 Toner Cyan
(キヤノン NPG-67 トナー シアン)
- ・Canon NPG-67 Toner Magenta
(キヤノン NPG-67 トナー マゼンタ)
- ・Canon NPG-67 Toner Yellow
(キヤノン NPG-67 トナー イエロー)

■ ホチキスの針

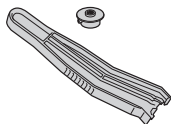


ステイプル・P1

以下のオプションで使用できます。

インナーフィニッシャー・K

■ スタンブカートリッジ



スタンブインクカートリッジ・C1

きれいに印刷できない

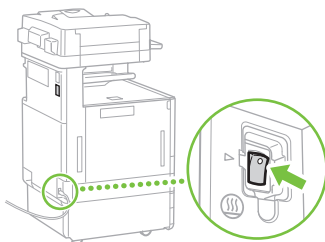
■ 画像にムラがある／かすれる

確認! ①

用紙が湿っていませんか?

除湿スイッチを入れてください。

それでも回復しない場合は、湿っていない用紙と交換してください。



確認! ②

階調や濃度は適切ですか?

階調補正を行ってください。

① [家] を押し、[メニュー] を選ぶ

② [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [自動階調補正] を押す

画面の指示に従って、自動階調補正を行ってください。

詳しく知りたいときは、ユーザーズガイドをご覧ください。

階調を補正する ➡ ユーザーズガイド

179C-09U

Q 検索



検索番号の使いかた ➡ 裏表紙

■ 黒いすじがつく

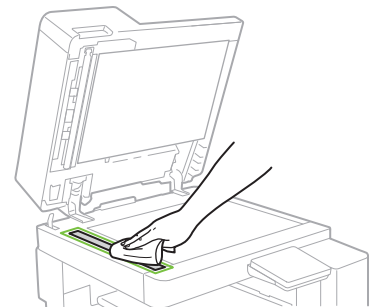
確認!

原稿読み取りエリアを清掃してください

① フィーダーを開き、付属のガラス清掃シートで下側の原稿読み取りエリアを拭く




汚れ防止コーティングが取れてしまうので、ガラスクリーナーやアルコール溶剤等を使わないでください。



② フィーダーを閉じる

汚れを拭いても黒いすじがつくときは
フィーダーのクリーニングを実行します。

①  を押し、[メニュー] を選ぶ

② [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナ
ナンス] ▶ [フィーダーのクリー
ニング] ▶ [開始] を押す

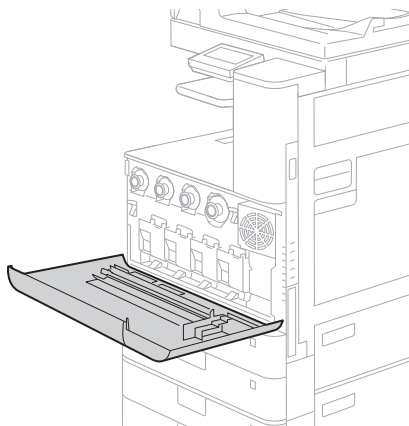
 クリーニングは約20秒かかります。

■ 白いすじがつく／すじ状に色が かわる

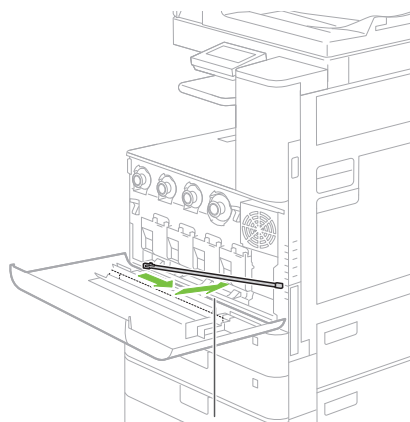
確認！

防塵ガラスを清掃してください

① 前カバーを開く

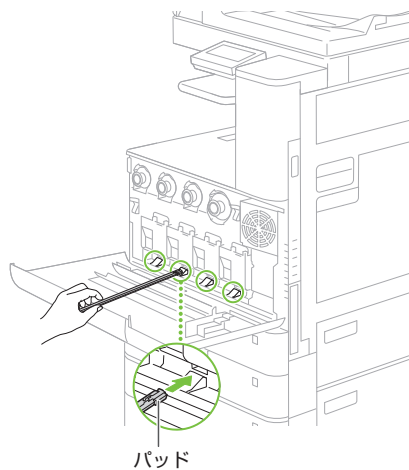


② 清掃棒を取り出す



右側にスライドさせて取り出す

③ 先端のパッドを下に向けて、穴に差し込む



パッド

④ 穴の奥に突き当たるまで差し込み、前後に動かす

 4か所すべての穴を清掃してください。

⑤ 清掃棒を戻して、前カバーを閉じる

Memo

付録

安全にお使いいただくために

お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しています。本機をお使いになる前によくお読みいただき、正しくお使いください。また、このマニュアルに記載されていないことは行わないでください。マニュアルの記載に従わない使用は、不適切な使用は、弊社および弊社指定以外の第三者による修理／変更などによって生じた障害の責任は負いかねますのでご了承ください。

▲ 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

▲ 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

ご注意

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。

■ 設置について

本機を安全かつ快適にお使いいただくために、次の注意事項をよくお読みいただき、適切な場所に設置してください。

▲ 警告

火災や感電の原因となる場所には設置しない

- 通気口をふさぐ恐れのある場所（壁の近く、ベッド、ソファ、毛足の長いじゅうたんの下など）
- 湿気やホコリの多い場所
- 屋外や直射日光の当たる場所
- 高温になる場所
- 火気のある場所
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近く

その他の警告

- 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- アクセサリーなどの金属や、液体の入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 万一、本機の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店、またはキャノンお客様相談センターもしくは担当サービスにご連絡ください。

次のような場所には設置しない

落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

- 不安定な場所
- 振動のある場所

▲ 注意

次のような場所には設置しない

故障の原因になることがあります。

- 低温、低温または高温、高温の場所
- 急激な温度変化や湿度変化がある場所
- 磁気や電磁波を発生する機器に近い場所
- 実験室など、化学反応が生ずる場所
- 空気中に、腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所

- 本機のお重みによってゆがみや沈みが生ずる可能性のある場所（じゅうたん／畳の上など）

風通しの悪い場所には設置しない

本機の使用中は、オン／オフが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い場所で長時間使用する場合は、大量に印刷する場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。また、本機からの排気が人体に直接当たる場所には設置しないでください。

結露の発生する場所には設置しない

部屋を急に暖めたり、温度や湿度が低い場所から高い場所へ本機を移動させたりすると、本体内部に水滴（結露）が発生することがあります。そのまま使用すると紙づまり、印字不良、故障などの原因になることがありますので、2時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。

海拔3000m以上の高地の場合

ハードディスクを搭載している製品は、高地（海拔3000m以上）で使用する、正常に動作できない場合があります。

ストッパーについて（付属製品のみ）

設置したあとは、本製品固定用のストッパーは外さないでください。本製品が動いたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

電話回線について（FAX機能搭載製品のみ）

電話回線の抵抗値と本機の抵抗値の合計が1700Ωを超える場合など、電話回線や地域などの条件によって通信できないことがあります。このようなときには、お買い求めの販売店、担当サービスまたはキャノンお客様相談センターにご連絡ください。本機はNTTのアナログ回線に準拠しており、一般の加入電話回線にのみ接続できます。ビジネスホンなどを接続している専用回線に接続すると故障の原因となる場合があります。必ず回線を確認してから接続してください。

無線LANを利用するとき（無線LAN機能搭載製品のみ）

- 無線LANルーターとの距離が50m以内の場所に設置してください。
- できるだけ遮蔽物のない場所に設置してください。壁越しやフロア間の通信は、接続しにくくなります。
- デジタルコードレス電話機や電子レンジなどの電波を発生する機器からできるだけ離して設置してください。
- 医療用機器の近くで使用しないでください。本機からの電波が医療用機器に影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になることがあります。

■ 電源について

▲ 警告

- 仕様外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源コードに重いものをのせないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
- タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。電源プラグがしっかり差し込まれていないと、火災や感電の原因になることがあります。
- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因になることがあります。

- 本機への電源供給が安全であること、安定電圧であることを確認してください。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になることがあります。

次のような取り扱いには避けてください。

電源コネクタが接続される本機の差込口にストレスが強くかかると、本機の内部で断線や接触不良が発生し、故障や火災の原因になることがあります。

- 電源コネクタを頻繁に抜き差しする
- 電源コードに足を引っ掛ける
- 電源コードが電源コネクタ付近で曲げられ、本機の差込口に継続的なストレスがかかっている
- 電源コネクタに強い衝撃を加える

アース線を接続してください

- コンセントのアース線端子に、アース線を接続してください。アース線を接続していないと、万一漏電した場合に感電の恐れがあります。コンセントにアース線専用端子がない場合は、接地工事（D種）が行われているアース線端子に接続してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

次の場所にはアース線を絶対に接続しない

- 水道管：配管の一部がプラスチックの場合、アースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管には接続できます。
- ガス管：ガス爆発や火災の原因になることがあります。
- 電話線のアースや避雷針：落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になることがあります。

▲ 注意

非常時にすぐ電源プラグが抜けるように、本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグの周囲に物を置かないでください。

ご注意

電源を接続するとき

- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作や故障の原因になることがあります。
- 複数の接続口を持つコンセントに本機を接続した場合、残りの接続口にはほかの機器を接続しないでください。
- パソコン本体の補助コンセントに本機の電源コードを接続しないでください。
- 屋内漏電ブレーカーを介して配線されているコンセントの使用を推奨します。

その他の注意事項

- 電気的なノイズは、本機の誤動作、あるいはデータ消失の原因になることがあります。
- お使いの電源についてご不明な点は、電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

■ 取り扱いについて

▲ 警告

- 異音・異臭がする、発熱・発煙している、などの場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店、またはキャノンお客様相談センターもしくは担当サービスにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になることがあります。
- 本機を分解、改造しないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コード、ケーブル類、製品内部のギア、電気部品などに子供の手が届かないよう注意してください。思わぬ事故の原因になることがあります。
- 本機の近くで可燃性スプレーなどを使用しないでください。ガスなどの異物が本機内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になることがあります。

- 本機を移動させる場合は、必ず本機の電源を切ってから、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインターフェイスケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグをコンセントに接続している状態でUSBケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になることがあります。
- モジュラーケーブル、USBケーブルには、3m以内の長さのものを使用してください。
- お客様の使用環境や動作モードにより、稼働音が気になる場合は、事務所とは別の場所に設置することをおすすめします。

心臓ペースメーカーをご使用の方へ

本機から微弱な磁気や超音波が発生しています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本機から離れ、医師にご相談ください。

▲ 注意

- 本機の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちたりしてけがの原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 開閉部を操作するときは、手を挟まないようにしてください。けがの原因になることがあります。
- 排紙部のローラーに触らないでください。巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- 使用直後は、内部や排紙口が高温になります。また、連続印刷すると用紙が熱くなることがありますので、取り扱いには注意してください。やけどの原因になることがあります。

フィーダーについて（フィーダー搭載製品のみ）

- 原稿台ガラスに厚い本などをセットしてコピーするときは、フィーダーを強く押さないでください。原稿台ガラスが破損してけがの原因になることがあります。
- フィーダーは、手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
- フィーダーの奥側に手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。

フィニッシャーについて（フィニッシャー装着製品のみ）

- フィニッシャーを装着しているときは、トレイ内のホチキスされる場所やローラー部に手を入れないでください。特にホチキス針にはご注意ください。けがの原因になることがあります。

カセットについて（カセット搭載製品のみ）

- カセットを引き抜いた状態で、本体内部に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。

節電キーについて（節電キー搭載製品のみ）

夜間など本機を長時間ご使用にならないときは、安全のため節電キーを押してください。また、連休などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

レーザー光について

この製品はIEC60825-1:2007およびEN60825-1:2007においてクラスIレーザー製品であることを確認しています。レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本機では、レーザー光はカバーや外装で遮蔽されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配はまったくありません。安全のために以下の注意事項を必ず守ってください。

- このマニュアルで指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
- マニュアルで規定された、制御、調整および操作手順以外のご利用は、危険な放射線の露出を引き起こす可能性があります。万一、レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

その他の注意事項

- 本機に貼ってある注意ラベルの指示に従ってください。

- 本機に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 開閉部を無理に開け閉めしないでください。故障の原因になることがあります。
- 動作中に電源スイッチを切ったり、本機のカバーを開けたりしないでください。紙づまりの原因になります。

■ 保守／点検について

定期的に本機を清掃してください。ホコリなどがたまると、正しく動作しないことがあります。お手入れをする際は、次の内容を必ずご確認ください。動作中に電源スイッチを切ったり、本機のカバーを開けたりしないでください。紙づまりの原因になります。

▲ 警告

- 清掃の前に、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。これをせずに清掃作業を行うと、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグは定期的に抜き、付着したホコリや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ホコリが湿気を吸って電流が流れ、火災の原因になることがあります。
- 清掃のときは、水で湿らせ固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤や、ティッシュペーパー、紙タオルなどは使用しないでください。これらが内部の電気部品などに付着すると、火災や感電、静電気発生の原因になることがあります。
- 電源コードや電源プラグは定期的に点検し、発熱、錆び、曲がり、擦れ、亀裂がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因になることがあります。

▲ 注意

- 本体内部には高温／高電圧部分があり、むやみに手を触れるとけがややけどの原因になることがあります。マニュアルで説明されている以外の箇所に手を触れないでください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切らないように、注意してください。

■ 原稿などを読み込む際の注意事項

著作物、通貨、有価証券、公文書などを原稿として読み込むが、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられることがありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製、加工することは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製すると、肖像権が問題となることがあります。

通貨、有価証券など

次のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証券
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

公文書など

次のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号

- 私人の印影または署名

MEMO

関係法律について

- 刑法
- 郵便法
- 著作権法
- 郵便切手類模造等取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 外国に於て流通する貨幣紙幣銀行券証券偽造及模造二開スル法律
- 印紙等模造取締法

■ 資源再利用について

キャノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

使用済み複合機・プリンターの受け入れ場所について
使用済みとなった複合機・プリンターにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。



キャノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複合機・プリンターのリサイクルを推進しています。使用済みの複合機・プリンターの回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

使用済みドラムユニット、トナー容器（カートリッジを含む）などの回収について

使用済みとなったトナー容器などにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。



キャノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みドラムユニットおよび使用済みトナー容器の回収とリサイクルを推進しています。使用済みドラムユニット、トナー容器の回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがごばれないようにビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

■ 安全規格関連の注意マーク

- | 電源スイッチオン（入り）
- 電源スイッチオフ（切り）
- ⏻ スタンバイ（待機状態）
- ① プッシュプッシュスイッチ ■ "ON" ■ "OFF"
- ⊕ 保護接地端子
- ⚠ 内部に危険電圧有。カバーを外さないこと。
- ⚠ 注意：高温、触れないよう注意してください
- ⏻ クラスII機器
- ⚠ 可動部有：可動部に触れないよう注意してください

MEMO

お使いの機種によっては表記されていないマークもあります。

v1602_00_ja-JP

設置時のご注意

次のような場所には設置しない

コンピューターなどの電子機器や精密機械の近く

電気的な原因や動作時の振動により、電子機器、精密機器などに悪影響を与えることがあります。

テレビ、ラジオなどの電子機器の近く

テレビやラジオ、オーディオ機器に、画面のチラつきや雑音の発生などの受信障害が生じることがあります。本機とは別系統の電源を使用し、離して設置してください。

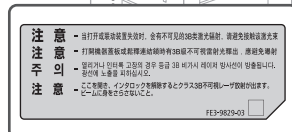
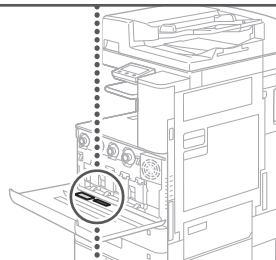
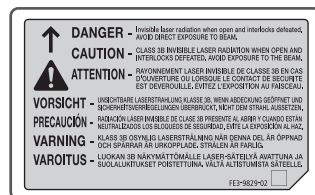
耐熱性の低いシートなどの上

本機にはカセットヒーターが内蔵されています。オプションを装着せずに本機を机の上などに設置する場合、底面が熱くなるので、耐熱性の低いビニール製デスクマットなどへの設置はなるべく避けてください。

移動の際はご連絡を

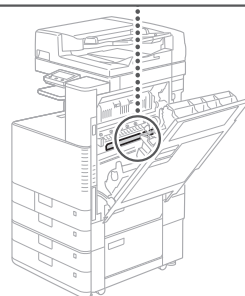
本機の移動は、お客様ご自身で行わず、必ず担当サービスにご連絡ください。

レーザー光の注意ラベル



定着器について

- 本体内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまり処理などで内部点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。また、定着器周辺に直接触れなくても、定着器周辺の熱に長時間さらされないように注意してください。低温やけどの原因になることがあります。



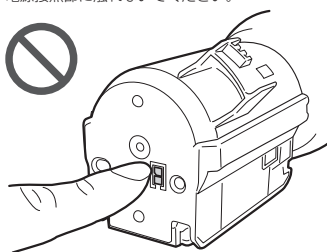
消耗品について

▲ 警告

- トナー容器や回収トナー容器は火中に投げないでください。また、トナー容器や回収トナー容器、用紙は火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

▲ 注意

- トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。万一、トナーを飲んだときは、直ちに医師に相談してください。
- トナーが衣服や手に付着したときは、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- トナー容器は分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入ったときは、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- トナー容器からトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚についたりしないように注意してください。皮膚についたときは、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残るときや吸い込んだときには直ちに医師に相談してください。
- 回収トナー容器を引き出す際は、落下に注意してください。けがの原因になる恐れがあります。
- スタンピングカートリッジを交換するときは、インクで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れたときは、直ちに水で洗い流してください。
- 電源接点部に触れないでください。



ご注意

- トナー容器は直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。
- トナー容器を立てて保管しないでください。

おことわり

本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の () の内名称で登録されていることがあります。
imageRUNNER C3020F (F172500)

電波障害規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
なお、通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

VCCI-B

国際エネルギースタープログラムについて



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

電波法について

「本製品には、電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備（認可番号：207-633728）を用いています。」

電波に関するご注意

本製品は、2.4 GHz帯域の電波を使用しております。本製品をご使用になるうえで、無線局の免許は必要ありませんが、次の点にご注意ください。

- **心臓ペースメーカーなどの医療用機器の近くでは使用しないでください**
心臓ペースメーカーなどの医療用機器の近くで本製品をご使用になると、本製品からの電波がペースメーカーなどの医療用機器に影響を及ぼすことがあります。
- **電子レンジの近くでは使用しないでください**
電子レンジの近くで本製品をご使用になると、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が低下する場合があります。
- **本製品と無線機器の間に、金属や鉄筋、コンクリートなどがあると通信できません**
本製品と無線機器の間に、金属や鉄筋、コンクリートなどが使用された壁やパーティションなどがあると、通信ができなくなったり、通信速度が低下する場合があります。その場合は、本製品や無線機器の設置場所を変更したりパーティションなどを取り外すなどしてください。
- **移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局の近くでは使用しないでください**
本製品の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止したうえ、お客様相談センター（お問い合わせ）へご連絡のうえ、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センター（お問い合わせ）へお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4

- 2.4 : 2.4 GHzの周波数帯域を使用することを示します。
- DS/OF : 変調方式にDS-SS方式およびOFDM方式を採用していることを示します。
- 4 : 想定される干渉距離が「40 m以下」であることを示します。
- : 全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」「アマチュア無線局」帯域を回避可能であることを示します。

MEMO

本製品は日本国内仕様です。日本国外では使用できません。

高調波の抑制について

本機器はJIS C 61000-3-2 高調波電流発生限度値に適合しています。

物質エミッションの拡散に関する認定基準について

本製品は、エコマークNo.155「複写機・プリンタなどの画像機器」の物質エミッションの拡散速度に関する認定基準を満たしています。
（トナーは本製品推奨トナーを使用し、印刷を行った場合について、試験方法 RAL-UZ171の付録S-MIに基づき試験を実施しました。）

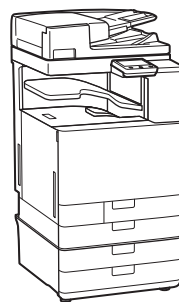
本書について

画面について

文中で使われている画面は、特に注意書きがない限り、imageRUNNER C3020Fにオプションの「インナー2ウェイトレイ・J」、「2段カセットベディスタル・AP」を装着したものです。なお、オプションの組み合わせによって使用できない機能もありますが、この場合、画面にその機能は表示されません。

イラストについて

文中で使われているイラストは、特に注意書きがない限り、imageRUNNER C3020Fにオプションの「インナー2ウェイトレイ・J」、「2段カセットベディスタル・AP」が装着されているものです。



商標について

Macは、Apple Inc.の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer、ExcelおよびPowerPointは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、本マニュアル中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

第三者のソフトウェアについて

お客様がご購入のキャノン製品（以下、「本製品」）には、第三者のソフトウェア・モジュール（その更新されたものを含み以下、「第三者ソフトウェア」）が含まれており、かかる「第三者ソフトウェア」には、以下1～8のライセンス条件が適用されます。

1. お客様が「第三者ソフトウェア」に含まれる「本製品」を、輸出または海外に持ち出す場合は、日本国及び関連する諸外国の規制に基づく関連法規を遵守してください。
2. 「第三者ソフトウェア」に係るいかなる知的財産権、権原および所有権は、お客様に譲渡されるものではなく、「第三者ソフトウェア」の権利者に帰属します。
3. お客様は、「第三者ソフトウェア」を、「本製品」に組み込まれた状態でのみ使用することができます。
4. お客様は、権利者の事前の書面による許可無く、「第三者ソフトウェア」を開示、再使用許諾、販売、リース、譲渡してはなりません。
5. 上記にかかわらず、お客様は、以下の条件に従う場合のみ、「第三者ソフトウェア」を譲渡することができます。
 - お客様が「本製品」に関するすべての権利、および「第三者ソフトウェア」に関するすべての権利および義務を譲渡すること
 - お客様から譲渡を受ける者が、「本製品」に附帯する条件に同意していること
6. お客様は、「第三者ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバースエンジニアリング等することはできません。
7. お客様は、「本製品」に含まれる「第三者ソフトウェア」を除去したり、「第三者ソフトウェア」を複製してはなりません。
8. 「第三者ソフトウェア」中のソースコードについては、お客様にいかなるライセンスも許諾されません。

「本製品」には、上記1～8のライセンス条件にかかわらず、別途固有のライセンス条件が適用される「第三者のソフトウェア」が含まれます。下記のホームページを参照していただき、該当する本製品の取扱説明書に記載されている「付録」の「第三者のソフトウェアについて」をご確認ください。

<http://canon.com/ojp-manual>

「本製品」をご利用になられた場合には、お客様は、「本製品」に適用されるすべてのライセンス条件に同意したものとさせていただきます。お客様が、ライセンス条件に同意できない場合、担当サービスにご連絡下さい。

以上

Memo

お問い合わせ

本機についてのご質問や修理のご依頼は、お買い上げ販売店または弊社お客様相談センター、もしくは担当サービスへお問い合わせください。各種窓口は、キヤノンホームページ（<http://www.canon.com/>）内のサポートページでご確認いただけます。



検索番号 の使いかた

1. オンラインマニュアル サイトを表示する

canon.com/oip-manual

2. ユーザーズガイドを 選択する

[imageRUNNER] ▶
[カラー] ▶ 本機を選ぶ

3. 検索番号でユーザーズガイドを 検索する

ABCD-123



Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

